

インフルエンザ予防接種を受ける方へ

予防接種を受ける前に確認！

公費でインフルエンザワクチンを接種できるのは、1年度に1回限りです。
今年度中の2回目以降の接種は全額自己負担となります。

予防接種後の注意点！

- ①予防接種を受けた後30分は、急な副反応が起こることがありますので、医師（医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ②インフルエンザワクチン接種の副反応で、激しく、緊急を要するものの多くは、接種から24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
- ③入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすらないようにしましょう。
- ④予防接種をした当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

過去に予防接種でアレルギーを起こした人、鶏卵・鶏肉に過敏症がある人は接種できない場合がありますので、医師に必ず申し出てください。

インフルエンザ予防接種の副反応

予防接種をしたあと、下に書いてあるような副反応が起こることが、まれにあります。また、予防接種と同時に、ほかの病気がたまたま重なって現れることがあります。

- ①予防接種の注射の跡が赤みを帯びたり、腫れたり、痛んだりすることがありますが、通常2～3日のうちに治ります。
- ②発熱、悪寒、倦怠感などがみられることがありますが、通常2～3日のうちに治ります。
- ③まれに、接種後2週間以内に、けいれん、肝機能障害、喘息発作などが現れた報告があります。
- ④非常にまれですが、接種直後（30分以内）にショックやじんましん、呼吸困難などが現れる場合があります。

上記のほか、嘔吐を繰り返したり、顔色が悪くなったりした場合は、医師の診察を受けてください。

わからないことは、予防接種の前に必ず医師に質問をして
予防接種を受けましょう！！